

現童だより



2022
No.64

令和4年8月20日発行
現代童画会報

編集 / 嵐柴 茂 糸井邦夫 大橋広史
井出三太 佐藤美絵 久我令子
発行 / 現代童画会広報局

現代童画会 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-5-10-402 ライオンズマンション本郷 電話 03-3816-5281 <http://www.gendoh.jp>

“今日、この頃”

現代童画会会長 小澤清人

今年に入り、春季展、受賞作家展と無事に終わり、とても良い展覧会であったと思っています。特に受賞作家展は、いつもに増して、作品が、充実していた様に思います。

我が会の新しい人材が着々と育って来ているのが感じられます。そんな5月の終わりに私は、手術の為に一週間程入院する事になりました。若い頃から今に至るまで生活を共にしてきた体の末端を切除する為なのです。

私の病室の壁に一枚の“ベニスの風景”らしき銅版画が掲げられ、それを見ながら生まれて初めての入院を楽しんでおります。今まで感じられなかった方向からものが見られる様な気がしてきて、気がつく“描かなければ！”とあせっていた様な“生き様”がちょっとバカバカしく思われるのです。壁の銅版画も客観的にゆったり

とした気持で鑑賞できるのです。人間は、一方だけ生きていくと人生を見る幅がなくなってくる様な気がします。

入院という環境の変化が、私に心の“ゆとり”を教えてくれた様な気がします。半世紀以上前に絵を志していた頃の自分にもどって初手から絵と対峙してみようと云う気持ちになってくるのです。(少し、イタイケド…)

6月の初めに退院すると、セミナー展の準備に始まり、選抜展と続きます。今年は、委員の方々にはミニチュアールの作品を出品していただく事になりました。良い展覧会になる事を期待しております。個室の壁にかけられた“ベニスの風景”を見ながらイロイロと未来の我が会のさらなる充実を描いている今日この頃の私なのです。

総 会 報 告

今年1月、当時の状況を鑑み、多人数集う会議は開催しない旨を常任委員会で確認しました。

その後、会計報告及び監査報告・予算案、事業報告・事業予定案、それぞれをオンラインで検討しつつ各責任者が準備した後、発送担当数名の協力を得て、表決書と共に会員皆様へ発送させていただきました。

こうして令和4年・2022年度現代童画会定期総会は昨年に続き、書面審議となりましたが、皆様方のご理解とご協力を賜りまして、表決書は順調に返送されました。

そして、総会開催予定日でありました令和4年

3月22日を書面審議日とし集計させていただきました。その結果、182名中、表決書提出者156名(委任状含む)でした。提出率86%、総会の成立を確認しました。

議案につきましても、第一号議案／事業報告・第二号議案／会計報告及監査報告・第三号議案／事業計画(案)・第四号議案／会計予算(案)のすべてが承認されました。

本年度、今後の活動につきましても引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

事務局 多田すみえ

現代童画会の作家を訪ねて

61

井上千寿子 「音楽から絵画へ」

糸井: 遠くから、ありがとうございます。色々とお話を伺えればと思います。

井上: 今日は奈良を朝7時に家を出て先ほど会場に到着しました。

糸井: ご苦労様です。それでは、まず、いつ・どこでお生まれか? から入りたいと思います。

井上: 1954年(S29年)3月の丑年で大阪生まれですが、すぐに母の実家の奈良に移りました。

祖父母はメリアス工場を経営、両親は質屋を営んでいました。

糸井: では小・中学校は地元ですね。

井上: 奈良の田原本小学校・中学校です。

糸井: どんなお子さんだったのですか?

井上: 小学生の頃は大人しい子で、思い返せば母の言うことをよく聞く子でした。夏休みには大きな画板と絵の具を持って家から15分の薬師寺や唐招提寺の写生に行っていました。今のよう綺麗な佇まいの建物ではなくとても古い御堂でした。人もいないのでゆっくり描いていました。中学校になる頃から目指す道を探すようになり美術部へ入り油絵を描いていましたが、先輩男子の凄く上手い風景画を見て、私の力不足を感じ制作意欲が薄れました。そのこともありコーラス部のピアノ伴奏を引き受けて気持ちを紛らわしていました。

糸井: その後は?

井上: 大阪の女子高校に進みピアノクラブに入部しつつ大阪音楽大学入学をめざしていました。高校2年の時の大阪万博1970で久里洋二さんのイラストを見た時はカルチャーショックでした。無事入学し卒業と同時に入試からお世話になっていた教授の子息と結婚しました。就職先である弘前大学・滋賀大学・奈良女子大学と5年間ほど

で一緒に周りそれぞれの県の音楽事情を知りました。

糸井: ずっと、音楽関係だったのですね。

井上: その間には色々あり、結果、離婚しました。そして、実家へ帰り29歳の時に大阪のイラストレーション科のある日本絵本造形専門学校に入学し新しい画材を知りたくてアクリルを学びました。そして、そこで現代童画会の米谷水枝先生に出会い、その瑞々しい色の輝きに感銘を受けました。

糸井: その後、どうなりましたか?

井上: それから、地元でお見合いをして今の主人と31歳の時に結婚して横浜に来ました。主人は企業プレゼンテーション提案書指導や企業昇進試験指導をしています。とても忙しい仕事で早朝から夜遅くまで働き詰めのため、私は絵を描いたりピアノを教えたりと自分の時間を持っていました。そこで絵の先生を探していた時に、米谷先生から紹介いただいたのが河野日出雄先生でした。

糸井: それで現代童画展に出されるようになったのですね。

井上: 初出品に F60号をアクリルで描き出品しました。卒業制作のパネル3枚組も一緒に出しました。変わったものばかり描いていたので井上さんはこのままで行きなさいと河野先生に言われていました。

その後は100号ばかり出品し続けています。途中、子供の出産で数年お休みしましたが、ずっと出し続けています。この当時は神奈川支部があり、多田すみえ先生が属しておられ、少しずつ親しくしてもらえました。今では絵に対して明確な指示を与えてくださいます。

糸井: 井上さんは12回に初出品・13回で会友推挙・14回で佳作賞・15回で会員推挙・42回で委員推挙されました。いつも100号を出されているなあと思っていました。

井上: 最近、委員になって審査の風景を見て後悔することがありました。自分はずっと惰性で描き続けていたかもと、もっと勉強しなければ思いました。自分が審査風景を見たことによってもっともっと追求できる形を探さなければ思うようになりました。色々勉強するようになりました。良い刺激を受けました。

糸井: 今、奈良へ戻って居られますよね。

井上: 2016年に主人の義母の介護が必要になり帰ることにしました。そして、米谷先生もいる関西支部に参加させてもらっています。

井上千寿子さんは音楽から絵画へと道を変更されましたが、本格的な音楽への道が深かったことが今の作品に生きてきているように思えます。娘さんもクラリネット奏者として活躍されています。泉耀子さんが唱えた「現代童画会は高齢者も好む会にしましょう」にとっても共感されている井上さんは発言も判断もとてもはっきりされているので、そのパワーを次世代が上手に受け継いでくれればと期待しております。

(2022/4/4 記・糸井邦夫／写真・大橋広史)



2022年春季展会場にて

第14回会友佳作賞「イヴの世界(F100号)」



現童日より、夏の号よりの新企画、手探り状態での覚束ないスタートですが良い形で発展することを願います。

ことある毎に小澤会長が仰る言葉があります。「現童に上手な絵は要らない、いい絵が欲しいんだ」、同感です。

「いい絵」、想いを込めて描いた絵はいい絵だと思います。その想いが見る人に伝われば、もっといい絵だと僕は思っています。

第一回目に紹介するのは「下田 泰」(しもだ やす)さんの「麓の春」です。

幼い頃の記憶の一コマを毎年一枚の絵にして本展に発表しています。

田植えが終わったばかり田んぼの水面を覗き込む少女と犬、雪解けの冷たい川を渡る少女、長い冬を越え春を待ちわびる喜びが伝わります、ホッコリ

します。

この作品は下田さんには珍しく表面的には色彩が多く、残雪など大胆な筆使いで新しいものに挑戦しています。

この一点に限らずどの作品にもやわらかな物語が感じられます。

無作為に選んだ41回展の「早春」は春の訪れを待つワクワクとキツネに出会った驚きが伝わってくる心弾む作品です。40回展の「家路」は夕暮れ間近、弟を連れての帰り道、泣きたくするような心細さ、家の灯りが見えた時の喜び、家に着いてからの会話さえ聞こえてきます。

しっかりした主題、下田様式と云える程の構図や色彩を持ちながら、毎回毎回迷い悩んでる痕跡が見られます。真剣に絵と向かい合ってる証です。だからこそ対峙していて快い緊張感と心が癒やされるのを感じます。

新委員紹介

新委員になって

中里 有香



委員推挙のお話を頂いた時は、私にはとても…と只々困惑するばかりでした。正直今でも、委員となって会のために何が出来るのかわからずにいます。ただ一つ、絵を頑張ること、そうすることでその先も見えてくるのかな…と思っています。

まだまだ力不足な私ですが、微力ながらも頑張っていこうと思っています。

よろしく願いいたします。

新委員になって

宮沢 寛之



この度委員推挙していただき、現代童画の諸先生方には感謝の気持ちと同時にその重責に気が引き締まる思いです。

期待に応えられるよう一層の絵画制作に励み、描画法の研鑽に邁進していきます。そして、委員として現代童画をより盛り上げられるよう尽力していきます。

委員としてまだまだ力不足ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新委員になって

飯塚 みづゑ

ナイーブアートという言葉に惹かれ、現代童画会の活動を知りました。初めて出品した作品で一般の部の現代童画会賞を頂き、これまで出品継続できた事、この度の委員推挙に感謝しております。

描きたいから描く、といったプリミティブアートを目指しつつも、どう見てほしいか、感じてほしいか頭をよぎる事もあります。それは、嘘の絵です。また、期日までに仕上げることに集中すると、終わらせた絵になってしまいます。これらの葛藤の中から、分かった事は創作とは「終わりのない絵の始まり」の繰り返しだということです。この過程にときめきを感じ、自分に嘘のない絵を描き続けていきたいです。

新委員になって

戸井田 しづこ



この度、委員を拜命した戸井田しづこと申します。今回のお話しをいただいた時、まだまだ未熟な私には身に余る大役ととても悩みましたが、こんな私でも、これまで育てていただいた現代童画会へ少しでも貢献できる事があるのならと思い、微力ながら尽力させていただく所存でございます。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



セルビア大使館訪問

セルビア大使館賞のご挨拶に、去年の12/1 一般の坂崎友里乃さんとお母さんを同伴して行ってきました。大使はアレクサンドラコヴァチュ大使に代わられたところで大使館も高輪に移転し新しくなりました。名古屋の長谷川純さんの生徒さんの事、2人とも大喜びでした。



2022 展覧会局報告

■受賞作家展報告

会期: 5月2日(月) ~ 5月8日(日) 銀座アートホール

5月2日～5月8日に銀座アートホール2階で開催しました第47回現代童画展・受賞作家展では、昨年の47回現代童画展で受賞されました作家39名に参加者を募り、36名の方に出品参加していただきました。

ゴールデンウィーク中にもかかわらず319名の方がご来場されました。会場では感染防止対策を徹底し、ご来場のお客様にはアルコール消毒、検温等ご協力いただきました。

展示されました受賞作家の新作36作品はどれも意欲的かつユニークな力作が並び、どれも昨年の受賞作品に劣らない、勢いのある作品でした。

受付では昨年の受賞作品をまとめたリーフレットを配布し、作品と照らし合わせながら鑑賞される方も見受けられました。

廊下壁面には47回展の会場風景写真等、パネルを設置して授賞式の様子や本展の雰囲気など伝えられたかと思えます。

今年も銀座アートホール、出品作家はじめ、現代童画会の先生方。受付事務等、外部協力の方々、多くの協力を賜りまして受賞作家展が無事開催しまし

たことを報告します。

コロナ禍が続く昨今ではありますが、いずれまたパーティーなど、受賞者と現代童画会との交流がより大きく強く広がり、また新しい会の力となるよう受賞作家展を盛り上げていきたいと思えます。

会の皆様にはより一層の受賞作家展へのご協力と開催期間中少しでも多く足を運んでいただいて、受賞者の方々との沢山のコミュニケーションを取っていただけますようお願い申し上げます。

展覧会局 宮沢寛之



受賞作家展展示前のミーティング



受賞作家展会場あいさつ



受賞作家展会場風景



受賞作家展会場風景

2022 展覧会局報告

■春季展報告

会期: 4月4日(月) ~ 4月10日(日) 銀座アートホール

まだまだ新型コロナウイルスが収束しない状況の中、蔓延防止対策を駆使して今年も、2022年春季展を開催することができました。

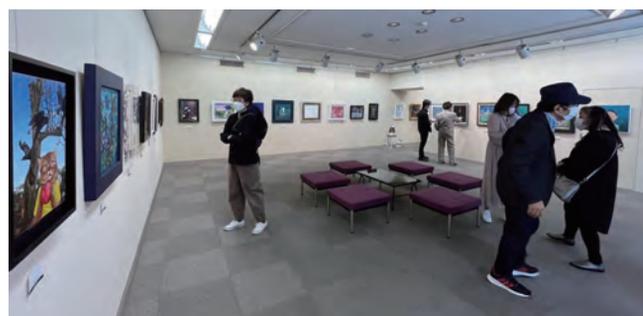
47回展で推挙された会友をはじめ160名が出品参加し、本展の大作とは一味違う我が会の真骨頂である8号以下の作品を、会期中の悪天候にもかかわらず昨年以上の数のお客様にご高覧頂くことができました。残念ながら昨年に引き続き懇親パーティーは中止となりましたが、“活気にあふれた良い展覧会ですね”との高評価も多数いただきました。

又、会員作品の中から審査員による選抜審査が行われ、選抜展に(8月22日(月)~8月28日(日)銀座アートホールにて) 58名が選抜されました。

なお、次回からは、ここ2年行えていなかった会のメンバーによる展示・撤去作業を行う予定です。

現代童画会は、今年も48回展に向けて動き出しました。

展覧会局 綱島 裕



春季展会場風景

2022年度選抜展出品者名

嵐柴 茂	井出 三太	夢我 克	神田 登紀子	津吹 貴子
有賀 忍	井上千寿子		木田 三郎	戸田 憲美
糸井 邦夫	井上 正男	阿部 聡美	北田 八重子	富岡美和子
大上 典男	岩佐れい子	天野 利恵	久保田長基	鳥飼 規世
小澤 清人	大作 俊子	井関 周	久米 幹晴	中村あつこ
小野 孝一	大橋 広史	植田 浩	コムロレイコ	中村 三穂
桑井 利美	尾曾 律葉	ウエトコマサヨ	米谷 水枝	永山 祐佳
小松 修	川村美佳子	牛島 聖子	ささべさえこ	西垣 至剛
多田すみえ	斉藤 一也	打樋佐和子	さとうあかね	ねづまちるくね
田中 信子	佐藤 美絵	うめだたかし	さわだ れいこ	長谷川一夫
綱島 裕	高橋 和代	遠藤 純也	下川 知彦	はやしすみこ
鳥垣 英子	田中 道信	遠藤 路一	白石さゆり	東野 穂澄
中根 和美	丁子 紅子	大内 泰子	鈴木陽二郎	松田 理香
中村 景晃	戸井田しづこ	大副 洵	高橋 素子	松本みさこ
	中里 有香	大塚たか子	高村 泰子	丸井 勝巳
荒井 克子	中野 靖子	岡田万里子	滝 紀子	みのしまかおる
飯塚 みづゑ	野口 邦恵	沖 満子	竹内香ノ子	山川 空
池田ヒロミ	福井 田鶴子	長田 英子	竹久 智信	山下真由美
石澤 晶子	ほんままさえ	小原 聖史	田中アユミ	横井 祐二
泉 耀子	宮沢 寛之	川部 律子	津嶋 博志	吉澤 久美

今も新型コロナに翻弄されています。新規感染者数で安堵と不安いつまで続くのでしょうか。

今は対面ができにくい環境。絵描きは孤独に画面に向かいながら表現する行為ですが、しかし、人との対話、風景との向かいあい……いろいろな情報を収集する事から始まり、それが描く作業だと思えます。

今年の本展では特別展示のコーナーを与えられ「小

野孝一の環境アート」一枚のカットから始まり 50 年近くアートに携わった人として変化をお見せできればと思います。

私の主なアートの流れ

グラフィックデザイン→イラストレーション→イラストレーション講師→ビジネスアート・童画作家→環境アート

48 回展から図録が大きく変わります。経費削減、現童だより・現童通信・本展の速報などとのサイズの統一のため A4 縦型になります。図録掲載要項参照。 常任委員・委員・名誉委員の掲載は基本 2 点までですが、その他は要相談です。頁で 2 名が縦と横作品になった場合、掲載順を入れ替えます。縦と縦の場合、上下でなく左右にレイアウトされます。会員・会友の場合、前回よりやや小さくなります。ご了承ください。 48 回展のポスター、チラシなどを活用して宣伝してください。招待ハガキは 2 名まで入場できますが、スマホでハガキを撮った画像の提示で、誰でも何回でも入場できます。 図録は掲載要項の通り、会員特別価格でお分けします。

【48 回展図録掲載要項】

- 図録サイズ A4 縦 297×210mm
- 掲載最大サイズ 常任委員・委員・名誉委員 120×175mm (1 頁上下に 2 名)
会員・会友 82×82mm (1 頁 6 名)
- 掲載料 (カッコ内は献本数) …事前に振込み案内があります。
常任委員・委員・名誉委員 18,000 円 (5 冊)
会員・会友 9,000 円 (2 冊)
- 図録の定価: 1 冊 2,000 円 (税込) 現童メンバーで追加購入の方には、1,500 円でお分けします。会期中、事務所まで申し出ください。来られない方は事務局か広報局に要連絡。
- 作品搬入日 2022 年 10 月 24 日 (月) 1 日のみ
- 搬入場所 東京都美術館 地下
- 掲載作品の選定
★常任委員・委員・名誉委員…1 点自選し出品票に○をつける。縦位置の場合 2 点まで。その他は要相談。
★会員・会友…審査委員会が選定します。

- 退会
委員 須賀宇多
会員 内田マリン 合田善熙
会友 小泉彫 吉岡豊子(逝去) 本谷道子 木下さや 増茂冴希
- 改名
会員 山岡けんぞう→健造
- 住所変更
会員 さわだれいこ 870-1181 大分市ふじみが丘北 1 丁目 9 番 8 号 小野様方
会員 遠藤純也 355-0024 埼玉県東松山市六軒町 19-15 ハイツカメリア 102 号室
会員 白石さゆり 093-0089 北海道網走市緑町 3 番 5-23 号 網走緑町住宅 502 棟 23 号室

住所変更・改姓・その他ありましたら、ハガキで下記多田すみえまでお知らせ下さい。

〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢 957-4

多田すみえ方 現代童画会 宛

<http://www.gendoh.jp>

※個展・グループ展などの情報は、広報局・久我令子宛お送り下さい。

〒202-0014 東京都西東京市富士町 1-8-2 101

久我令子 宛

(編集の都合上はがき到着順に掲載しています。次号に掲載の場合もあります。グループ展は、会員・会友にチェックを必ずお願いします。)

※現童メイトの方へお知らせする為に会友以上の方の企画 DM20 枚程度を「山川空」宛で受付します。毎月 10 日前後に発送しますので、早めにお送りください。

- 深淵に挑むシビュラたち展 ギャラリーオル・テール 令和3年12/17～25 井関周 田代歩 吉武祐一 他
- Ange de Noel 16 ギャラリー絵夢 12/17～27 大上典男 鳥飼規世 夢我克 他
- 美 it 展 アートウォール・シビック 令和4年1/5～30 山下佳代子 他
- ★小原聖史個展 ドラードギャラリー 1/15～23
- ★太陽満愛 Da 天使展 東京浅草画廊 Gei 1/25～30
- 民俗文化行事を描く展 アートウォール・シビック 2/1～27 永山祐佳 他
- 線と展 ギャラリーあづま 2/14～20 荻沼優子 牛島聖子 他
- ★竹内香ノ子個展 ドラードギャラリー 2/18～22
- ★多田すみえ猫展 画廊楽! 2/21～27
- ★糸井邦夫情景画展 銀座幸伸ギャラリー 2/21～27
- ネコ猫ねこ展 アートスペース BASAC 2/22～27 岡田富士子 コムロレイコ 他
- グリーン・リーブス展 つくば美術館 3/15～21 岡田万里子 瑞原郁子 富岡三和子 菅野武弘 小林千恵子
- 人形と絵の「春」展 丸善・丸の内本店 3/16～22 田中アユミ 戸井田しづこ 他
- 夢のイストワール展 O 美術館 3/18～23 田中信子 井出三太 井関周 坂本澄子 川部律子 高橋素子 みのしまかおる 他
- ★松本みさこ展 アートギャラリー絵の具箱 3/22～27
- 魔法展 ギャラリーソレイユ 3/28～4/2 三上桂子 川井真理子 他
- 仮面送展 ギャラリー GK 3/28～4/9 橘内えり子 他
- 10×10 版画展 銀座中央ギャラリー 3/30～4/7 山川空 他
- 時の共有展 美の起原 3/31～4/6 鳥飼規世 他
- ★佐藤美絵展 ギャラリー梅猫庵 4/1～10
- シビュラたちの愛の領分 ギャラリーオル・テール 4/8～16 田代歩 吉武祐一 他
- 二人展 鯖江市まなべの館 4/9～17 岩佐れい子 他
- 玩具箱浪漫展 アートスペース BASAC 5/5～15 中村景児 岡田富士子 井出三太 他
- ★大内泰子個展 コート・ギャラリー国立 5/5～10
- ★さとうあかね個展 コート・ギャラリー国立 5/5～10
- Viva! Melt Meri! 展 melt meri 5/7～17 sio. 他
- グリーンナイーブ展 銀座幸伸ギャラリー 5/16～22 天野利恵 井上正男 大作俊子 荻沼優子 長田英子 川部律子 川村美佳子 桑井利美 コムロレイコ さえサエコ 佐藤美絵 白石さゆり 田中道信 綱島裕 永山祐佳 細井啓之 ミツマチヨシコ 宮沢寛之 山川空 山下佳代子 他
- 旅の途中展 ギャラリーころころ 5/18～23 遠藤純也 他
- ★川井真理子展 ギャラリー G2 5/26～31
- ★多田すみえ猫展 元麻布ギャラリー平塚 5/27～31
- cheers!! uia M.M. 展 melt meri 5/27～31 sio. 他
- Boys 少年展 エンジェルドルズ 6/3～11 小澤清人 他
- CD ジャケットアート展 PALETTE GALLERY 6/11～19 sio. 高橋素子 他
- ★中根和美展 栗原画廊 6/15～20
- ★夢我克の世界 artTruth 6/16～26
- ★sio. 個展 melt meri 6/18～28
- Flow of the time 展 ANDLINKS81 6/21～25 大作俊子 佐藤美絵 他
- ★竹内香ノ子展 美の起原 6/25～7/1
- 思い思いのプロフィール展 アート・トゥルース 7/13～20 田中アユミ 戸井田しづこ 他
- ★東野穂澄童画展 京阪美術画廊 7/14～20
- プチマーチ展 ギャラリーヌアージュ 7/27～8/7 糸井邦夫 コムロレイコ 他
- セミナー展 MGG 7/25～30
- 夏を彩る短冊展 artTruth 8/3～10 天野利恵・コムロレイコ・佐藤美絵・戸井田しづこ・みのしまかおる他
- ひびのん展 ギャラリーヌアージュ 8/10～21 天野利恵・糸井邦夫他
- 日本の海洋画展 東京芸術劇場 8/16～20 福岡市美術館 9/6～11 糸井邦夫 田中道信 他
- ねこ参道 工房 33 8/20～26 糸井邦夫他
- ★猫と遊べ糸井邦夫個展 artTruth 8/25～9/4
- ★小澤清人個展 アップルハウス 9/1～25
- ★小澤清人個展 Galerie La 10/1～6
- ★井出三太個展 ギャラリーオル・テール 10/7～15
- ★大塚たか子個展 ギャラリー&カフェ 204 11/9～13
- 長谷川純・和泉景子二重奏展 5/R ギャラリー 12/1～6

編 集 後 記

先日 NASA が「人類史上これまでで最も遠い、宇宙空間の撮影に成功した」というニュースが流れてきた。そこはまるで宝石箱を散りばめた様な多種多様な色や形の星で輝いていた。

ふと外に出るとそこには夏の夜空を彩る星たちが

チカチカと点滅していた。深呼吸を一つ。静寂な夜、我を忘れ吸い込まれていく。

人それぞれに個性があり輝いている。その個性がいつまでも輝き続けられる平和な社会であってほしいものだ。(H.O記)